

①東大追従でいいのか

3つのポイント
 ① 目的の論点は、東大が単独で秋入学を宣言するよりも、また東大の「中間まとめ」による秋入学への移行方式は最適なものであったという点である。
 ② 東大が他大学に先駆けて単独で秋入学の移行を宣言してよかったが、秋入学の全面移行でよかったのか、東大の「中間まとめ」による秋入学への移行の仕方はどうなのか、という3つのポイントを挙げる事が出来る。

単独発表は強引か
 ① に関して、1月29日付朝日新聞の記事によると、三重大学の内田厚正学長は東大や旧帝大主導ではない、全国の国文学の連合組織である国文学協会主導でまとめればよい実現性は高くなったと述べている。一方で、脳科学者の茂木健一氏によれば、東大が先陣を切って発表することでも秋入学の移行を進めようとしたと評価する意見もある。
 東大は今回の発表は他大学に先駆けて単独で行ったが、単独で秋入学への移行は考えていないという。北大、東北大、筑波大、東工大、一橋大、慶応大、早大、京大、阪大、九大の

11大学との協議を経て、それらの大学とともに移行する考えられている。
 一方、アジアからの留学生にも合わせるべき、ギャップタームを一律に課すべきではないなどの理由から4月入学・秋入学を並行すべきとの意見もある。

就職格差 生じる恐れも
 しかし、偏重の高い大学のみの移行すると、秋入学の大学の卒業生が就職で優遇されるという就職格差の懸念も生じる可能性がある。また、大学間の移行方式にも困難が生じている。
 ③ に関しては、大学内の事情を知る伊東乾、東大大学院情報学推進教授の東大の移行方式への痛烈な批判を参照した。

とはいえ、すべての大学が秋入学に全面移行することは難しい。私立大学が秋入学に全面移行するとなると、その間の資金繰りが厳しくなる可能性があるという。政府が融資などをサポートする、莫大なコストがかかるであろう。「中間まとめ」によると、東大に關しては、多大なコストは通常の発生しないという。しかし他大学の移行コスト及び資格試験の時期調整などの社会的なコストは無視できない問題である。
 ② に関して、「中間まとめ」によると4月入学・秋入学の複合化は相当のコストを要するため、学部によって秋入学への全面移行が合理的だといっている。なお、大学院段階では、既に複合化が進んでおり、選択、志願者の立場からは、選

肢が多いことが一般的に好ましい措置であるといっている。
 一方、アジアからの留学生にも合わせるべき、ギャップタームを一律に課すべきではないなどの理由から4月入学・秋入学を並行すべきとの意見もある。

現役東大教員の反対
 ③ に関しては、大学内の事情を知る伊東乾、東大大学院情報学推進教授の東大の移行方式への痛烈な批判を参照した。

長期留学は増えないか?
 ① に関して、秋入学への移行により海外から及び海外への留学生がある程度増え、また帰国子女が受ける見込みがあることが出来る。この点については、留学期間が長期化する傾向がある。これは、4月入学である長期留学の場合、留年しなくとも、秋入学で解決するからである。
 たまたま、「中間まとめ」によると、「学部段階では、志願者が主として高校生である」ということ、日本語学習などの準備を要すること、卒業後の進路がある程度明確なことが、この等から学位取得を目的とする留学（長期留学）を増やす効果については、大学院の場合と同じように

2つ目の論点は、秋入学移行の主要な目的はグローバル人材の養成及び大学の国際化であるが、それは秋入学移行による効果は達成されるのかという点である。
 この論点に関しては、留学期間が長期化する傾向がある。これは、4月入学である長期留学の場合、留年しなくとも、秋入学で解決するからである。
 たまたま、「中間まとめ」によると、「学部段階では、志願者が主として高校生である」ということ、日本語学習などの準備を要すること、卒業後の進路がある程度明確なことが、この等から学位取得を目的とする留学（長期留学）を増やす効果については、大学院の場合と同じように

入学時期が留学の障壁？

学生の海外派遣に関する大きな障壁（複数回答可）

回答大学総数: 87

項目	件数	比率
① 助言教職員数の不足	23	26.4%
② 帰国後の単位認定が困難	32	36.8%
③ 帰国後、留年する可能性が大きい	59	67.8%
④ 経済的問題で断念する人が多い	42	48.3%
⑤ 指導教員の理解が得られない	3	3.4%
⑥ 大学全体としてのバックアップ体制が不備	21	24.1%
⑦ 両親、家族の理解が得られない	7	8.0%
⑧ 先方の受け入れ大学の情報が少ない	9	10.3%
⑨ その他	27	31.0%

出典：「留学制度の改善に向けて」（平成19年1月）「留学制度の改善に関するアンケート」
 実施主体：国立大学協会国際交流委員会 留学制度の改善に関するワーキング・グループ
 調査対象：87 国立大学
 調査機関：平成18年7月13日～8月4日 ※「中間まとめ」より作成

学位（学士）取得を目的として留学する際、あなたは、様々な国の大学の中から学位（学士）たにとって最も都合の良いと思われる入学時期 取得を目的として留学先を選択しようとする際、は何時でしょうか。該当するものをひとつ選んで 入学時期について考慮しますか？該当するものをひとつ選んでください。

回答数	%	回答数	%
春(4月)	26 13.1	大いに考慮する	66 33.2
秋(9月又は10月)	109 54.8	少し考慮する	88 44.2
春・秋いずれでも構わない	49 24.6	考慮しない	32 16.1
その他の時期	4 2.0	無回答	13 6.5
無回答	11 5.5	合計	199 100.0
合計	199 100.0		

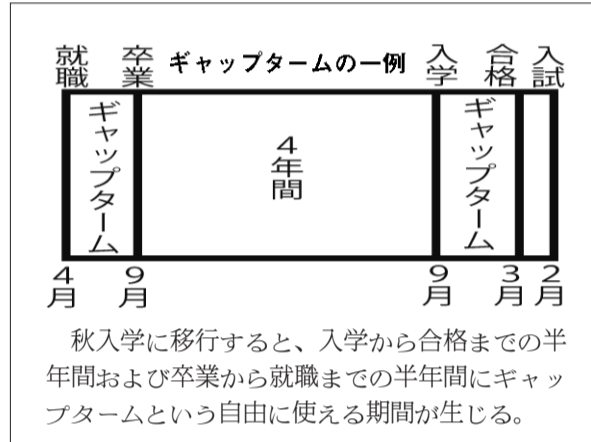
出典：学士課程の入学時期に関するアンケート
 調査主体：東京大学本部企画課
 調査対象：東京大学の留学生
 調査方法：2011年10月に開催された留学生向けの各種オリエンテーションやメールを利用し実施
 回答者数：199人（うち学部生24人、大学院生74人） ※「中間まとめ」より作成



秋入学

のすべてがわかる 四大論点

- ① 東大追従でいいのか
- ② 大学は「国際化」するのか
- ③ ギャップタームを活用できるか
- ④ 就活は変わるか



Q そもそも秋入学って？

東京大学は「入学時期のあり方に関する懇談会」を設置し、昨年4月以降入学時期の変更について検討を進めてきた。その成果として「中間まとめ」を作成し、1月20日に公表した。
 「中間まとめ」によると、東大は今後5年後後、学部生の入学時期を秋に全面移行する方針である。浜田純一総長は記者会見で、3月中旬に正式報告を公表し、また4月をめどに経済界や他大学の協議を立ち上げる方針だ。
 大学教育だけでなく、様々な問題と関わっている東大の秋入学移行について、論点を4つに大別し、また秋入学を巡る現状及び経済界や他大学の動向をまとめた。(1)

秋入学とは、大学受験を終えたあと、大学に入学する時期を9月とする制度である。1872年に学制が公布されたとき、大学は9月に入学であった。しかし、1921年に会計年度に合わせ、4月入学であった義務教育に合わせるため、4月入学に移った。
 東大が作成した「中間まとめ」は大学の「国際化」が求められているとして、入学時期を国際標準である9月入学に移行する方針を示している(各国の入学時期に関しては、5面の参考資料を参照)。

秋入学とは、大学受験を終えたあと、大学に入学する時期を9月とする制度である。1872年に学制が公布されたとき、大学は9月に入学であった。しかし、1921年に会計年度に合わせ、4月入学であった義務教育に合わせるため、4月入学に移った。
 東大が作成した「中間まとめ」は大学の「国際化」が求められているとして、入学時期を国際標準である9月入学に移行する方針を示している(各国の入学時期に関しては、5面の参考資料を参照)。

Q 東大の主張は？

東京大学発表「中間まとめ」の概要は次の通り。
 (1) 大学教育の国際化の必要性：社会・経済のグローバル化に対応するために、大学教育も国際化する必要がある。
 (2) 4月入学を前提とする学事層の問題点：東大の日本人学生の海外留学や留学生受け入れは低調であり、秋季入学が国際標準である中、4月入学は留学の障壁となっている。
 (3) 高大接続をめぐる問題点：受験準備の受動的な学びから、大学での主体的・能動的な学びへの転換のため、インパクトのある体験を付与することが有意義。
 (4) 以上のような課題意識を踏まえ、① 学部段階の秋季入学への移行、② ギャップターム（高校卒業から大学入学まで自由に使える半年間）の導入、③ 優秀な学生への対応（早期卒業制度の導入など）を検討する。
 (5) 秋季入学のみならず英語による授業や外国人教員の増加、進振り制度の見直し、経済的支援などについても検討。
 (6) 他大学や経済界、政府との連携・協力に向けた検討
 その他、全学生に国際的な学習体験をさせること、「一点列み」の序列に頼らない新たな入試・進学振分けの仕組みなどを提案している。

留学で伸びない 英語力

田田紀氏は、WEBRO SNSというサイト上「本気で国際化を推進したいのなら、入学時期の移行よりも先に、キャンパスに近接する寮の設置や入学期の途中に長期休暇期間が入らないことによる教育の柔軟性の向上についても言及されている。しかし教育力キルムの変更は、英語力向上の具体的な手段は触れられていない。
 また、授業を英語にして英語力が向上するとは限らないという意見がある。大学教員でありプログラマーのsakurama氏のプロク「授業を英語で受けたい」という意見は、英語力の向上にはあまり役に立たなかった」といっている。それよりも英語力の向上に役立つのが1対1のコミュニケーション

留学生は多ければいいの

びたいのではないかと考えられることも可能であり、大学の「国際化」という方針の曖昧さも疑問がある。
 これの点を踏まえて、秋入学に移行するのであれば、どのようなカリキュラムの改善が必要か、広範な議論が必要である。

WEBでも読めます 京大新聞

Twitter もよろしく！ <http://www.kyoto-up.org>

by 社内担当者
 新着記事、イベント
 情報等をつぶやいています
 ユーザー名: kyotounivpress
 プロフィール:
<http://twitter.jp/kyotounivpress>

WEB 広告も随時募集中!

京大新聞社のウェブサイトでは、一部を除く毎号のニュース、企画・特集記事等を配信しております。その他、サークル等学生団体や博物館のイベント情報も掲載。どうぞご覧ください。